明治廿七年五月廿九日印刷
明治廿七年六月一日發行

婦人衛生雜誌

第五拾五號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第五拾五號
目次

講演

鼻咽喉病に就て一二の注意　ドクトル　金杉英五郎君
滋養及胃の衛生　醫學士　大西秀治君
女子の體育に就て

衛生叢談

◉廣東地方流行病
◉黒死病の原因取調
◉黒死病の豫防撿疫實行
◉黒死病豫防法の實施
◉黒死病調査
◉黒死病猖獗の電報
◉滊車中の睡眠劑
◉本年の脚氣
◉大日本婦人衛生會常會
◉婦人衛生會講師招待◉廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第五拾四號
目次

講演

◉女子のやまひ(承前)　醫學士　増田知正君
◉乳齒出齦期發病の講話　ドクトル　伊澤信平君

衛生叢談

◉精神病に關する警視廳令◉巣鴨病院入院手續◉衛生に關する化學的分拆の成蹟◉日蝕と眼病◉腸胃病專門家試驗室◉兩醫伯の演説大要◉石花菜の無害◉震死の治療法◉老醫の奇特◉女醫の必要◉高齢者の增加◉三百餘人の中毒◉櫻餅の中毒◉恙虫◉長崎の天然痘◉牛痘苗の説明◉赤痢流行の兆あり◉施療劵の發布◉東京產科婦人科病院◉大日本婦人衛生會懇親會
◉廣告數件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衞生雜誌第五拾五號
（明治二十七年六月一日發行）

講演

鼻、咽喉病に就て一二の注意

（二月四日於富士見倶樂部婦人衞生會例會）

ドクトル 金杉英五郎君 演說
大澤とよ子 速記

扨て、私は昨年一回御招きに預りまして、詰らぬ御話しを致しまして、嘸ぞ御退屈でございましたろうと存じます、故に其時一回で免職を仰せ附けらるゝ事と存じた處が、今日復た御招に預り宮樣始め奉り皆樣の御前で御話しすることの出來まするのは、無上の光榮で御座います。實は一月の御常會にも罷出べき御約束を致しましたが折惡しく熱海表に居る病人が手重くなりまして、俄に彼方に參りましたので、甚だ御無禮を致しました。演題は茲に掲げて有ります通り、鼻と咽喉の病氣に就て一二の注意を御話し仕樣と思ひます。處で、昨日何か順序正しく取揃ひて置かうと思つて居りましたところが、昨日も病用にて大磯に參りまして、漸く只今歸つて參りましたやうな譯でございますから、御話しの前後致す事は幾重にも御容赦を願ひます。

私は昨日汽車の中で、少々思ひ當つた事がございますから、其事を御話し仕やうと思ひます。私の乘りました汽車の内に合乘の夫人が二人有りました、其方々の問答に就てゞあります。一人の夫人が他の一人の夫人に御話しなさるには、「御孃樣

が御惡るいさうでございますが如何で御座います」と申されました處が、一方の夫人が「ハイ難有う………鼻風邪で、ほんの鼻が塞がる位ゐの事で、………」「ソレは御安心でございます………」此問答の中にはほんの鼻が閉がる位ゐ、ソレは御安心といふ此言葉に大へんに感じました。ソレ故私は今日鼻の塞がる害に就て御話し仕やうと思ひます。

さて鼻が塞がる時は如何なる害が有るかと云に、

、第一赤兒に於ては口の方から呼吸をするといふ方便を知りませぬからいつも鼻からして呼吸をするものと考へて居るので有ります。故に鼻の詰まる時は赤兒に於ては、非常に苦むので、殆どそれがため窒息するやうになる事が往々御座います。若し窒息しないにした所が、鼻の呼吸が止まれば呼吸が惡くなる爲めに、咽喉から氣管支、肺の方の作用も惡くなつて、ソコの發育が惡るくなる事が一ツの害で有ります

、第二に人間の生活して居るのに、最も肝要なる酸素、……空氣中の酸素を吸ひまする分量が少ない爲め、知らず識らず心臓の病、肺の病、腦の病を惹き起し易い、是れが第二の害で有ります。

、第三の害は鼻の閉がる時は非常に精神の作用に害を及ぼします。ソして鼻が閉かれば如何に精神の作用に害を起して參るかといふに、我々が鳥渡した鼻風邪を引いて、鼻が詰まる、サウすると、頭痛がしたり、頭の重いことを覺えたり物事を忘れ易く、凡てに忘然として居るは日常我らの實驗する所で有ります。先づ輕るい中は頭が重く頭痛がしたり記憶が惡くなつたり、氣分が鬱きがちにな

つたりするので濟みますが、此事が漸々募つて參りまするときは、精神の作用は殆ど消失りて仕舞つて愚鈍の人間、所謂馬鹿になつて仕舞ふので有ります。鼻が閉かると斯いふやうに、精神の作用に害を爲すので有ります。ドウして鼻が閉かると、精神の作用に害をなすかといふに、此事に就きましては、歐羅巴の諸大家も人間の智識の發達に非常に關係の有ることで有りますから、非常に研究したので有ります。ソレで多くの人の研究に依りますれば、鼻の閉がるときには腦の中に在る所の淋巴管といふもの丶ハケが惡くなるので有ります。淋巴のハケが惡くなつて腦の中の作用が一体に惡るくなり、腦に血液の循環する工合も惡るくなりまして、隨つて腦の一般の作用が惡くなりソレ故に前に申したる如く、頭痛がするとか、頭が重いとか記臆が惡るなり、氣分が鬱ぎがちになる等の事を起すので有るといふ說に一致いたしました。

何故此淋巴管といふものが閉がつて來れば腦の作用が惡るくなるかといへば、之を船の事に假令て申しませうなれば、船の機關に油の廻りが惡るいと此機關の關車などに塵芥が溜まり舟の運轉が惡るくなる、而して舳が壞れますとか、帆が折れるとかいふやうに、船に故障が出來るのと同じ事で淋巴管の排泄が惡るいときは、血行に障碍などを起して腦の運轉が惡るくなり、物事を忘れずに記臆して居らなければならない所の帆が折れたり、疳癪玉の纜が切れて、じきに物事に怒り易くなつたりして、腦に障碍を起すので有ります。今日に至りましては鼻が閉いで記臆が惡るくなつたり鬱

ぎがちにあつたり、或は甚だしくなると發狂症になつたりするのは、全く淋巴の排泄が惡るくなつて、ソレがため腦の機關の運轉が惡るくなるので、以上の症候を來たすといふ事に殆ど極りましてございます。斯くの如く鼻が閉がつて居ると、恐ろしい害をなすもので有ります。

モウ一ツ即ち第四の害といふは鼻の閉かつて居るときは、多くの物の香ひが仕ませぬ事、即ち嗅覺で有りますが、鼻が閉がつて居るときは物の香ひが漸〻に致さなくなります。デ物の香ひが無くなつて參りますと、隨つて物の味ひまする所の作用も鈍くなります。ソレに對する所の害は非常に大きなもので有ります。なんでも物は香つてから、始めて味ひの有るものが多い。然るに香ひといふものが消失して參りまする時には味ひが惡るくなるか或は全く無くなる斯くの如く、香ひといふものは味ひといふものと、……則ち嗅覺といふものは味覺といふものと、親密の關係が有るから始め香ひが無くなりまする と物が甘くない。如何に山海の珍味が並べて有りましても、香はずに食べては味が無い。又馥郁たる櫻でも梅でも、これに香ひがなくては少しも樂みませぬ。たゞ奇麗なる色を見るだけでは樂みがないといふやうになつて來る。一には人間快樂中の一つの物を缺きまするし、二には味ひといふものが漸〻惡るくなりまするから、隨つて其食した物の消化も惡るくなりますから、折角食べましても瘦せまして、骨が現れるやうになる、斯くの如く恐ろしいもので有ります。

第五には、鼻の閉かりまする時は呼吸が非常に困難になるため、鼻の翼をつかう事が多い。ソレの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

みならす鼻の中の機械が非常に骨を折らなければならない。少しの所から呼吸をしなければならないから、非常に骨が折れる其爲めに、翼が膨れて參りまして、一体に甚だ醜くなつて來る。則ち鼻の閉がる時には鼻の形が惡るくなるから、天然の美形を損ずるといふ害が出來てくる。斯くの如く鼻の閉がる害は隨分大なるもので有ります。

第一には人間のからだの中の最も大切なる部分、即ち咽喉、氣管支、肺などが細く狹く出來上るやうになります。

第二には人間のからだで最も必要なる心臟病、腦病などを起すやうになります。第三には精神の作用に非常の害を起し、甚だしきは馬鹿の樣になる事。第四には人間快樂中の一なる物の香ひといふ作用が失して參ります。第五には天然の美形を損じて、醜き所の獅子鼻となります。斯くの如く鼻が閉がると人間のからだには害を爲すもので有る、然るに昨日汽車の中に御在にあつた夫人二人は鼻の閉がるは斯樣に怖い事あるをも知らず、御自分のお娘さんが天然に達者であるべき所の氣管が弱くなりましたり、肺が狹くなつたりいろ〳〵の障得を起す事、即ち喉頭氣管支肺軟弱の製造中にありますること。ソレから心臟病腦病の下拵へをして居る事。ソレから馬鹿になる稽古をして居る事。ソレから香ひを潰しまする事の演習中で有りまする事。ソレから天然美しき所の御顏の一部分即ち獅子鼻になる下稽古中であるといふ事の、此五ッの大害を知らずして、たゞソレは御安心でござるとか、鼻の閉がる位ゐの事であるといつて、意氣揚々として居らるゝのが私の耳に入ッて、

思はず涙が出る程に感じました。斯くの如く鼻が閉がるのは恐ろしい事で有ります。是れをたとへてまをしませうなれば、今心臓病を起し肺焮衝を起して居る者よりも尚は危險で有ります。なせ危險で有るかといふに、子供の中から氣管支、肺などの構造の漸々惡るくなりまする事。ソレから酸素を吸收する事の分量が少ない事。ソレから愚鈍になります事。斯やうないろ〳〵の恐しい事が重なつて居ることで有りまするから、今肺焮衝を起したとか、心臓病を起したとかいふより恐い。なせかといふに肺焮衝を起しても心臓病を起しても、病症に因ては一週間内にも容易く治すことが出來ますが、鼻から起る所の馬鹿などは到底治すことは出來ない、形から言つても天然の美形を損じたのは、なか〳〵治るものではない。私は専門でも到底之れは治りませぬ。鼻の閉がつて起る害は其位ゐの事で有ります。

ソレから其次は咽喉の御話しを致します。近來奧方や御孃樣方が頻りに義太夫の御稽古をなさることが諸方にありますやうですが、是れは私は甚だ恐ろしく思ひます。なせ恐ろしく思ふかといふに、不具でない所のからたを不具にするから、恐ろしいと申すので有る。全体婦人の聲といふものは、細くて高くなければならない筈で有ります。又男子の聲は太くて低い聲で有ります。然るに此義太夫の稽古を御始めになりますと、聲がまるで變つて仕舞ひます、婦人の優美なる所のヒーといふ聲が、ウアーといふ聲に爲ります。

女といふものは全体容姿の美しいものでありまして、其中でも聲は殊に美なるもので有る、例之ば

美しい御孃樣でもゴロ〳〵といふ聲を出されては、少〻考へものになつて來る。然るに義太夫の稽古をなさると天然優美なるヒー……といふ聲が變してゴロ……になりますから、義太夫の御稽古は私は甚だ不贊成で有ると申すのであります。ドウして天然得たる所のヒー……といふ聲がゴロ…………いふ聲に變ずるかといへば、義太夫を語つて居りまする咽喉を見ると、まるで當り前の人の咽喉とは違つて居ります。ドコが違つて居るといふに、聲を出す口即ち聲帶といふものゝ發育が非常に能くなりまして、まるでゴムでこしらへた西洋の笛の口にはめるやうなものを、モチでこしらへて押し附けたやうな咽喉になつて仕舞ひます。例えば普通の咽喉は一分あるものなれば、義太夫語りの咽喉は通常三分も四分も太つて居る樣になります。此極く狹い所の能く出張りたる薄い穴から出て來る聲はヒー……といふ調子の高い聲で、此聲なれば謠つても宜しいが、義太夫を永く致して居ると一方の聲帶の緣と一方の聲帶の緣とが非常に強く壓され、常にドツマ聲を出す、爲めに、聲帶が多く働かなければならない。ソレが爲め漸々に咽喉が太つてヒーといふ聲を出さうと思つても、ゴロン……といふ聲になる。御望みとあらば謠つて御聽かせ申しても宜しい……此事は委しく御話し申すと、隨分面白いことで有りますが、甚だ失禮な事なから素人方には能く御解りになりますまいと思いますから、このくらいにして置きまして、唯義太夫の御稽古は御廢めなすつた方が、婦人特有の天然の美聲を損じないだらうと云ふ私の老婆心丈け申上るので有ります。ドウしても婦

人の聲を出す仕事は琴の御歌ぐらゐに御止めになつたなれば、天然の美を損じないで有らうと思ひます。いづれ此事に就ては追々御解り易い様に取調べて御話し致さうと思ひます。

今日は大分御寒うございますから、余り長くなつて、御風邪でも召して、又御鼻でも閉がると往けませぬから、是だけに致します。

滋養及胃の衛生

醫學士　大西秀治君

本日此席に於きまして皆様に御話しするの光榮を得ましたるは私に取りまして實に此上もなき幸であります、此に其御禮を述べます而して此光榮は永く腦裏に留め決して忘れませぬ所であります

私の申上まする演題は既に皆様の御耳に達してをる事柄でありまして殊更に新しき御話しでもござりますまいが私が先年獨逸國留學中彼の消化機病専門家の名ある恩師ロイベー氏に就きまして聊か學び得たる所がありますから矢張餅屋は餅屋で自分の商賣向を御話し致ソート思ひます

凡そ衛生と申しまするど第一空氣、第二水、第三土地の事より終に衣食住に論が及びまする偖吾々が身體を健康に保ち又病氣を未發に防ぐの尤肝要なる衛生の一部は滋養論でありまして夫に直接の關係をもちまするは胃の衛生法であらうと思ひます然るに此問題は必要である故に又困難なる問題であります、若し滋養論即食物の問題が其國に於て完全なる實地の成績を得ますなれば其國は必ず富強を致すものであります故に一國の強弱貧富は全く滋養論即食物問題の當否如何にあるの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

でありまする、亦一家でありますると其家族が充分なる胃腸の攝生即ち營養を完全にさるゝでありますなれば一家族の幸福は之に基づきまして之より大なる事はありませぬ、然しながら必要なる問題でありますると從て困難なる物でありまする故之につきましては衛生家たる者が第一に着目しどこ迄も研究して適當の方法を立てなければなりませぬ

先づ第一に食物は何と何とを何程食べなければならぬ何物は不消化であるから食べてはならぬ、どう云ふ物をどう食べて居れば身体が健全であると云ふ方寸がありさへすれば何も六ケ敷事はありませぬ、如斯方法を立つる事は衛生家と雖も數多の食物を一々調和するの困難なる事と人々の現狀や其他の原因によりて到底出來難い事であります

然し衛生家たる者は種々の法案を研究し出來る丈の方法を立つるは正に盡すべきの義務でござりまする、夫故今日本席に於きまして聊か私の素志を述べ私の衛生家たる義務を盡さうと思ひます抑も適當なる食物は身體を肥やし精神を活潑にし而して幸福の榮華を結ぶの發端でありますから家政を取らるゝ皆樣方は此點について尤も深く注意なさるれば國の富强を招き家內の幸福は之より來ることであります然るに此理由は申す迄もなく皆樣が充分御了解なされて居りましても偖此事を實行さるゝや否やに至りては或は只少數の御方に止まりはせぬかと思ひます、夫については衛生家が其罪を負擔すべきでありまするか又は皆樣方即ち家政を取らるゝ御婦人方が其責に當るべきでありましやうか之は先づ皆樣に伺ひたき問題でありま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

す

察するに家政を取らるゝ皆様が食物を調理をなさるゝに大抵は御自分の好きな物か或は時候向きの品で之は甘しいから滋養にあるであろう之は私は好きであるから拵へようと云ふ様に見受られます而して滋養の點には餘り御注意が充分ではありませぬかと思はれます今日の所では概して斯様なる有様が澤山なると思ひますどうでござりましやうか

此頃時事新報に臺所案内「何にしやうか」と云ふ題に日々献立が載せてありますが之を見ても專ら時節柄の思ひ付料理と評を下しては如何でありますか

先づ食物衛生上から申しますと第一に食物を買ふには其物がドレ丈の滋養分を含むでいるであろう亦此物と彼物とを混じて食すれば何程の滋養分があるであろうと云ふ事で第二には調理法が甚大切であります

今日の如く既に分拆法も充分進歩してをりますから平生食用に供する食品は大抵分拆が出來てをりまする夫故何物は如何なる滋養分を澤山に含む何物は滋養分に乏しいと云ふ事が略分て居まするから學理的の食物献立表が出來てをります夫故此献立表を標準となさッて食品を買ふにも又調理するにも此表中から擇まして日々の食事に供されたなればよろしかろうと思ひます次に經濟の點でありますが之は食物を購求するに大なる關係を以てます故只今申しました献立表を基とし譬へば是丈の活計を以て家内の經濟を立つるにはどれ丈の物品が買へる然らば此物を是丈の定額内で買ふには

其物がどれ丈の價値のものであらうと云ふ樣に其物品が含有する滋養分はどの位であらう、夫で同一の代價の物あれば滋養分を餘計に含有する物を買ふと云ふ樣にするが家內經濟の元でありて亦榮養上必要の點と思ひます

然るに人によりては食物を澤山食べれば其中から滋養分を取るから量が餘計なれば身體を補給するに足るであらう或は食物が口に味ひさへすれば甘ひに相違ないから胃の中にはいりても必ず滋養になるであらうと考へる、是は隨分ありさうな事です然しながら之を譬へて見ますると好きだからと云ふて甘藷を澤山食したとて牛肉の十分一にも及びませぬ又自分が好きだと云ッて調理法に注意をしませぬならば譬へ消化し易き滋養分を含む鷄卵の如きも固く湯でる時には却て不消化物となります、隨分田舍などでは來賓に御馳走を勸め夫が爲客が迷惑する事がありまするが夫より尙は一層御馳走を勸めると云ふ事につきまして一ッの御話しがあります昔し中古の頃羅馬國の盛なりし時は何事も驕りの極度に達しまして食物なぞも非常に奢りを極めました其頃客を待遇するに山海の珍味を山程に並べ立てゝ御馳走をします然し客は之を一々食べる事は出來ません夫故各々が客に招かるゝ時は一種の器械を持參して行きます其形は手袋の長い樣な物でありまして最早滿腹して食事が出來ません時には此器械を咽喉の中に入れて食物を吐迭しまして又再び客席に就き殘りの珍味を食べると云ふ事でありまする隨分不養生な事と考へます其頃胃病に罹りし物はどの位でありましたか別に書物に載ッて居りますん實に殘念な事であります

る抑も我々が日常食べまする食物は動物及植物性の混和したる物でありますが其儘食べると云ふ物は誠に僅かでありまして大抵は煮るか焼くか蒸すか或は其他種々の適當なる料理法を以て味ひをつけ消化に適する樣に致します然しながら單に煮たとか焼た斗りではなく美味をつける爲種々の香料を加へ味を甘くし且見た所も甘味そうに且美事に見ゆるのが消化上肝要であります

そこで食物を學問上に申しますと二ッの大なる滋養素に區別を致します即ち一は含窒素物他は無窒素物であります、ソーして此二ッのものは身體を養ふに欠くべからざるものであります又是を物品にて申しますと含窒素物とは肉類、鳥卵、牛乳、豆類、穀物類を申します又無窒素物とは脂肪、山慈姑、葛粉、澱粉、砂糖類を申します、して是等の物を混じて調理した物が食物であります

此に滋養分を澤山含むと少々含むところのものを順序に申しますると矢張前逃しました順番であります尤も私は牛乳を第三番に於きましたは日常の食用品についての御話しでありまする故に病人に就ては又異なる所があります又肉類の中にも禽獸の種類によりて滋養分を含むに多少の差があります先肉類の中では牛肉が尤も滋養分に富で居まして次に羊肉其次が犢牛の肉夫から豚肉と云ふ樣な順序であります又家畜の外に野獸譬へば兎、鹿、猪、等の肉も滋養分について多少があります夫から又同一の肉の中にも場所によりまして味も違ひ滋養分も少く從て消化に適しない部位があります是等の事は調理をなさるゝ御方の注意をしなければならぬ要點であります肉の中には生肉の

外に鹽漬、鑵詰、又は薫肉など種々ありますが矢張牛肉が食物に一番適して居ります次に鳥肉であります之は一般に滋養に富で居りまして獸肉に優るとも劣るとはありませぬ夫から魚肉であります之も滋養分を澤山含で居りまして且消化し易きよき食物であります

コレから一寸牛乳の御話にうつります抑も牛乳は滋養分を尤も餘計に含んであります食物でありまして人間の身體は隨分牛乳のみでも生存して行くとができます殊に嬰兒の如きは乳のみにて生活して行きます、なせ牛乳は斯の如き滋養分を含んで居るかと云ふに實際上恰度身體を補給して行くだけ適當なる滋養分をほどよい割合に含んで居りまする乍然大人が牛乳のみにて生活しますには少くも一日に四乃至五「リートル」程の牛乳を飲まなければなりませぬ、然るに他の食物譬へば牛肉、鷄卵、或は魚肉などに於きましては牛乳の樣に只其一品を以て身體を補給して行くと云ふ事は出來ませぬ何せなれば其中には隨分滋養分を澤山含んで居りますが牛乳の樣に身體の生活に適當する割合をちもませぬ夫でありますから一般食物には生理學上身體を補給するに必要なる滋養分の定りたる比例と云ふ者がありまして何と何はどれ丈の割合にて食物となせば食用に叶ひ何だけでは譬へ此滋養分を含んで居るも彼滋養分には乏しいから充分なる食料にはあらぬと云ふとであります今其滋養物を區別して申しますと蛋白質、脂肪、及び抱水炭素でありますそうして此三ッの者がある一定の比例によりて始めて食物となり之が身體を養ふのであります此比例と彼有名なる「フォイト」氏

の試驗によれば一日平均一二〇、〇瓦の蛋白五五、〇瓦の脂肪五〇〇〇瓦の抱水炭素であります之は最も歐羅巴の强壯ある中年輩の比例でありまして食物の量は年齡や體格や職業或は寒暖氣候人種の異なるとなどによりて種々の差があります

抑も通常の食物中蛋白質を最も澤山含んでをりまするものは肉類でありまして其次は豆類であります又抱水炭素を澤山含んでをりまするものは穀類でありますが此に御參考の爲一二の食物について其成分を申しまするると

第一　牛乳は三、五の蛋白質三、六の脂肪四、八の抱水炭素八七、五の水分〇、八の灰分であります

第二鷄卵は一三、〇の蛋白質一一、〇の脂肪七五、〇の水分、一〇の灰分を含んでをります

今牛乳と鷄卵とにつきまして滋養分を比較致しますと鷄卵の方には抱水炭素は含んでをりませぬ夫でありまするから鷄卵のみにては牛乳の樣に身體を補給して行く所の滋養分に不足があります

第三牛肉は二二、五の蛋白質四、五の脂肪七一、八の水分一、二の灰分を含んでをります之は上肉の油身を除けたるものゝ分折であります

第四　鷄肉は二〇、〇の蛋白質四、〇の脂肪七五、五の水分一、〇の灰分を含でをります

第五　鮭は一、五五の蛋白質七、五の脂肪七六、〇の水分一〇の灰分を含みます

第六　鯉は二五、五の蛋白質一、〇の脂肪七七、〇の水分一、五の灰分を含みます

第七　蠣は五、〇の蛋白質九二、五の水分二、五の灰分を含みます

第八　米は八、〇の蛋白質〇、五の脂肪七六、〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の抱水炭素一、〇の灰分一、〇の植物纖維素を含みます

第九　小麥は一五、〇の蛋白六、〇の脂肪六四、〇の抱水炭素二、〇の灰分一一、〇の水分二、〇の植物纖維素を含みます

第十　ソラ豆は二四、五の蛋白質二、〇の脂肪五一、〇の抱水炭素一四、〇の水分三、五の灰分五、〇の植物纖維素を含みます

第十一　馬鈴薯は一、五の蛋白質〇、二の脂肪二〇、〇の抱水炭素七六、三の水分一、〇の灰分一、〇の植物纖維素を含みます

第十二「ホーレンサウ」は三、五の蛋白質〇、五の脂肪〇、三の抱水炭素九〇、五の水分一、五の灰分一、〇の植物纖維素を含みます

第十三　蕪は二、〇の蛋白質〇、二の脂肪一〇、〇の抱水炭素八五、八の水分一、〇の灰分一、〇の植物纖維素を含みます

第十四　梅實は〇、五の蛋白質八、〇の抱水炭素八、七〇の水分〇、五の灰分四、〇の植物纖維素を含みます　又林檎梨等も之に類似します

只今申上ましたる品々は一つ〳〵についての分析でありまして先づ凡そ日常用ゆる所のものについて御話でござります而して食料に供するには之等の内より二三を撰で適當の食物として需要に供するのであります

本日此に食物分析の表を持參致しました（表を示します）是等の一ッ〳〵は一品についての分析を現はしたるもので如斯き四角な棊盤狀に種々の彩色を以て區別してあります即ち此赤色は蛋白質で黄色は脂肪、青色は抱水炭素、白色は水分であり

まして又縦に線を引きましたるは植物繊維素で横線は灰分であります而して此碁盤形は百の同等なる目に分たんでありまして其彩色の區別と目數の多少によりて含有する成分を一目することが出來ます此に申しまする成分表とは種々の食物より同等の分量を以て其中に含有するものを分析したるものでありまするから譬へば牛乳は蛋白質を含むこと三、五とありますれば即ち百の中三、五蛋白質を含み殘り九六、五は他の成分を含むと云ふとであります一寸御注意迄申上ます」私の考へでは通常食用に供する品物について斯樣なる表圖を製し臺所に掲げ之を標準とし日々の食物を購はして滋養の多少を之によりて考へらるゝならば大に家政を取らるゝ御方の便利であろうと思ひます

之れから胃の衛生について御話を致します偖胃病の起ると云ふものは種々の原因に基くものであります譬へは平生大食をなしたる爲漸々胃が充分に消化することが出來なくなり或は胃に適せざる食物を食したる爲急に腹痛を發し下痢を起し嘔吐を來すなぞ皆胃病の證候であります夫故に此病を急性なるものと慢性なるものとに區別します然し俗に申す胃病とは慢性のものを名けますので此病症の醫語にて申しますと消化不良或は消化困難と云ひます而して此消化不良症は緩慢に増進しますから初期に於ては何人も意に介しませぬ、して漸く其症狀を自分で感ずる樣になりて始めて何だか此頃は食事が進まぬ甘くない、腹か滿る樣な感覺を訴へます此に消化不良の證候を略記しますと先づ食慾減損、時々の嘔氣、食物の味感が常と異なり、酸敗を起し、腹は滿張、何となく全身倦怠

を覺え頭重く、なま欠伸を催し、なま唾液が出たり、胸もちが惡く、便通が不整でありて、動作が大儀となり、精神が鬱閉ぎ、勉强力や耐忍力が乏しくなる等其他まだ種々の身體に及ぼす異常の心持であります

倘如斯病は何時何故に起りてきますかと云ふ事に至りては原因上の御話になりますので說明には甚六ヶ敷あります何せなれば胃の衛生を守るには必ずこれ丈の事を守らなければならぬと云ふ事を斷言するは實際上出來得べからさる事であります從て此病は世間に隨分澤山ありまして之れが爲に困難している人は何程でありましやうか抑も消化不良症の起るは人々の食事法に大關係をもちますものであります即ち其人の食事法が胃の消化に適するや否やでありまして原因の過半は料理法の消化器に適しませぬのと其次には食物の善惡に拘はらず多量に攝取するのであります、最初の中は胃の消化機能も健全でありますから別段に障害を認める事なく自分も食が進むに任せ不消化物も意とせず又暴食を致しますスルト、終には胃も不消化物のために擴張し消化力に乏しくなります、そうして終には不治の病となります故に餘り多量の食物は胃を休憩せる事なく絕へず動作させますから其機能も疲勞して消化作用を充分に營むとが出來なくなります是等は最も著るしき原因でありますが其他にもまだ澤山あります譬へは習慣とは申しながら隨分よくある事は彼の於香〳〵で茶漬と稱ふるものは殆んど咀嚼むるとなく只食物を鵜呑にし恰も腹は他人胃は壓溜と心得何でも構はず投込みますは胃の衛生から申しますと實に其

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

當を得ない不攝生の事であります如斯事は自ら胃病を招くものであります、そも消化と申しまするは食物をよく咀嚼し胃に入りて能く胃の液と混合させ容易く吸收さるゝ事を申します、夫故能く咀嚼むと云ふは必要なる事であります

一般に胃の衛生と申しますれば胃の消化を助けて往かねばならぬと云ふ事が第一の原則であります夫故食物は餘り澤山に攝取せず恰度腹の加減が宜しいと云ふを適度とし毎常食事する際は空腹を感じ美味く食べらるゝのが肝要であります又食物は能く咀嚼し唾液と能く混和させなければなりませぬ夫故緩徐り食するが宜敷ありますそうして食事が終れば暫時休息し決して食後直に身體の働作を致さぬ樣にし少くも食後三十分間の後でなければ働作してはよくありませぬ、人によりては食事をすると眠氣を覺へます隨分習慣となりて食後暫時眠らなければ氣持がわるい然し目醒めて後は精神活潑となります之は消化機能に基く神經の作用でありますから食後十分か十五分間位氣を落付て居るは胃の衛生に叶ひます然し之は醫學上から申す迄の事で必ずしも御就寢なさいと申すのではありませぬ又食前には少々なりとも散歩をなし腹を空かせて歸りたる後暫時休憩して食卓につくとは衛生の旨意に叶てをります

夫から食時は何時なしたれば胃の衛生上に宜しいかと云ふに食事は腹の空いた時になさるのが適當の時間であります夫故必ず「ドン」になりたから晝飯を食べると云ふは胃の衛生に背きます何せなれば御同樣に空腹を感ずる時は即ち胃は消化を終り且つ空虚となりたるため食意を催ふすのでありま

す而して健全なる胃にありては四乃至五時間を經れば既に消化は終りまして胃は漸々空虚となります夫故食事から食事の間は五時間を經たる後を適當とします又晩餐は臨臥の三時間前に終り夫から就寢するとは消化器を充分休憩させるに必要であります

平素胃の消化に大關係をもちまするは日常の生活法であります尤も之は人々によりて差違ありますが兎角運動の少い人は胃を損じ易く又精神上の關係も消化機能に大影響をもつてをります

以上述べましたる攝生法の胃に直接なる關係をもちまするは申すまでもなきことでありますが胃の衞生を守るには第一調理法の適否、咀嚼の如何でありまして又食物の温度なども消化上關係を有します之等は皆胃の器械的及化學的作用を强弱ならしむる基となります而して胃の機能と名けますものは胃液の分泌、滋養分吸收、胃自己の運動等であります又胃液分泌とは消化の用に供するものでありまして食物が胃に達しまするど胃の粘膜は消化に必要なる液を漏します此最も要用なるものは鹽酸でありまして胃の中の「ペプシネ」と共に食物中の蛋白質を「ペプトーン」と名くる所の液體に變化せしめて吸收を容易ならしめます其他胃の成容物は漸々腸に於て吸收されます、して消化に適しないものは終に吸收されずして大便となりて體外に排泄されます

終りに臨みまして尚一言申しまするは人の好嫌でありましてたとへ此物が如何に滋養分を餘計含んでをりますとも其人には不適當の食物となることがあります譬へば牛乳は滋養分に富むから飮めと勸

めても好まざるものには却て適せず直に吐出したり腹痛を起すなぞと云ふ事もあります夫でありますから一概に必ず此食物と定めることはたとへ分析上其當を得たるも實際上六ヶ敷事であります

次に今日吾々が食する日本料理は果して日本人に適するや否やは大問題であらうと思ひます隨分衛生家の中にも日本人現今の食物を以て充分と見做さるゝ人もありますが私は食制改良論者の一人でありまして願はくは吾々は食物を和洋折衷になさるゝことを賛成する一人であります

如斯不完全なる御話を致しましたも皆様は家政を取らるゝ任を帶びていられる方々でありますから日々の食物については實地に御研究なさるゝ故此事について充分御研究を乞ひ併せて吾々に實地上の効益を與へられん事を冀望の餘り此演說を致しました次第であります願はくは語の錯雜を咎めず微意を胃の健全なる消化の如く吸收あらんことを切に望みます

女子の體育に就て

此講話は伊太利國女王の保護せる女子教育會の總會に際し女王親臨の時「チューリン」大學校生理學博士ユーモッソー氏は左の講話をなせりといふ

女子の體育は何れの關係に於ても男子の體育より一層重惡なるものとす而して近來日耳曼の體操法を學校に施行せんとするに方り過激なる反對論者ありて爲めに學者の注意を喚起せり蓋女子の體育法を改良するに方りてこれが妨害となるものは男子の體育に於けるよりも少しとす是れ女子が體操をなすの要は男子の如く護國の用に供するの準備

にあらず、女教師をして射撃法を習熟せしむるにあらず且つ深遠巧妙なる体操術を行はしむるにあらず故に體育法を改良するには世の生理學及び攝生家をしてその慈愛の目的を十分に達するを得せしむるに足れり

夫れ體操は一般に筋骨を發達するの一事を以て必要と思考すれとも、その功用の內部機關に機係するとに至りては、敢て顧るものなし予が體育を特に重ずる所以のものは、則ての體育上に最緊要なる臟腑及肢體の運動と作用を活潑ならしむるにあり、伊太利にては國民一般に俄に體操を始め、又俄に廢するの傾向あり、而して體育上最も適當なる年齡に至れは、自ら運動の度を減するも妨けなし、現今吾國の體育は大に衰頽せり、吾國二三十年前の少年は、活潑に運動せしも今日の少年は昔日に比すれは運動を重ぜず、歎ずべきの至りなり、蓋し國民擧て國政改革を爲し遂げたりしが、その熱度の減するに隨ひ、體育の道も亦衰退せるあり、若き貴婦人は體育を蔑視せり是れ體操を以て兒童の遊戲に均しきものと思考するが故なり、故に各技藝學校體操場及び講義堂等に於て之を强迫して學ばしめんとするも到底行はれざるへし若し體操場を以て之を專修する人、及天性强壯なる人の爲めに設けたる物とせは、性質の虛弱にして運動を爲さゞれば强健なる能はざる人の爲めに他の方法を求めざるべからず、予は世の母たるものに曉喩して體育の善良なる法を設け、其子の健康を圖らしむるを希望す

博士チー、ベンチ氏は近頃少女に於る貧血病「クロ、シス」の原因の一を發見したり、凡そ少女の身

胎は春期發動期に至れば多量の鐵分を內部に蓄積するを要す蓋しこの鐵分は天性に備はる貴重なる血液の元素にして胎兒に遺傳するものなればなり、牛乳は胎兒の生活に足るべき鐵分を含有せざるが故に、他に方法を求め母たるものは務めてその子の生るゝに先ち多量の鐵分を養成すべきなり然せざれば病を釀すは生理學上自然の勢なるへし將來に於て必要なる鐵分を要すへき機關の組織あるに速に之を養成せずして、爲めに血液の消耗を致すは愚の至と云ふへし、而して女子の身體發達の力は、男子よりも弱くして鬱憂の徵候成年に顯はるゝを以て、男子に於けるより特に注意して消化作用を活潑とすへし、或は攝生を過まち、或は非常に心氣を勞すべき業を爲し、或は鬱悶し或は大は衰弱し或は病後に衰弱を來す等、皆少女の成年を妨ぐるものなるが故に女子の十四歲より十五歲に至る間は身體を運動し、機關の發達をして生理に適する樣一層注意するを要す、或る人云へるあり、女子が春期發動期に際しては暫く運動を中止すべしと、然れども生理學者はこの說を贊成せず、之に反して運動を活潑にするは自ら血液の循環と攝生とを助くるの効を奏すべき一原因なりと云へり

衛生叢談

◉廣東地方流行病

廣東在勤英國領事が香港當該官の請求に依り廣東地方流行の黑死病に關し報告する所ありたり右報告は醫員ドクトル、レンニー氏之を作りたるもの

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゝ由にて去十一日の香港デイリー、プレッスに據れば其の全文左の如しと

此頃廣東省城に於て流行性の疾患蔓延す此疾患は三月下旬に發生し南門附近の貧區に限れり余等は四月八日其近傍に到り一二の患者を觀察し家々衛生上の狀態を視察するの機會を得たり今該流行病の症候を按するに最初に不快を感じ若くは寒慄する等の前徵なくして卒然百五度若くは之より以上の熱を發し頭痛甚しく精神錯亂して人事不省に陷り十二時間乃至二十四時間に頸部、腋下若くは鼠蹊に腺腫を生じ忽ち脹起して鷄卵大と爲る其質極て强靭なり熱を減じ若くは減せずして患者は漸々昏睡態に入り通例四十八時間若くは之より以前に死す若し六日を經過すれば快癒の望あり腺腫は少しも化膿の徵候を示さず或る患者にありては熱を增し若くは喀血す罕には小柴疹を發すれども刻期の發疹なし該病初期の症候は略々此の如し而して當時は病勢頗る猛烈にして余等が到れる小街中に於て該病に殪るゝ者三十餘名ありたり即ち患者の六割五分以上は死亡せるものにして其割合甚だ大なりとす此等患者の家は職工勞働の住家に係り床は土間にして濕氣を帶び氣通不良にして矮小なり家の前面なる敷石の下には通常の排水裝置あれども余等が巡視せる頃には久しく降雨なくして水に缺乏せる故を以て甚だ衛生に利ならざる有樣なりき住民曰く最初家々の近邊に幾多の死鼠を看出せしことありしが其後幾もなくして又鼠を見ざるに至れりと

四月十七日余等は又北門内なる支那病院に於て

若干の患者を撿する機會を得たり患者は孰も余等か前週目擊せし者より輕症なりき担任の醫師が余等に告ぐる所に據れば流行病發生の當初其治療せる患者は八割許の割合を以て死亡せしが今は二割五分許に減じたりと云へり此醫師は流行病の勢漸く衰ふと以爲へるが如し然れども其後該病は城内の他の部分にも蔓延し遂に延て河南に及べり余等は近來患者を撿視したることなしと雖も而も余等の聞知せる所を以てすれば患者の數も激烈の度も兩ながら未だ減退に就かざるもの丶如し死亡數に至りては確實なる統計を得るに由なきを以て此點に關しては敢て私見を陳べず然れども余等は信ず土人は病症の性質をして妄に之を畏るゝが故に其言ふ所は往々實に過ぎたるものありと

注意　該病は千六百六十五年に於て倫敦市民を惱したる所謂倫敦大時疫と同病ならざれば必ず其類ならんペーパル、レーヘル、プールン其他の西部支那を旅行せる者曾て之を記述しドクトル、ラウレーも亦千八百八十二年北海に於て之を觀察し精細に記述する所あり普通に之をビユーボニック、プレーグと曰ふ患者と同一の家若くは同一の狀況の下に住する者の外には大に傳染せざるが如しと

●黑死病の原因取調

其筋にては黑死病の原因取調の爲め近日清國香港へ技師を派遣するの內議ありて昨今其人撰中なるよし

●黑死病の豫防撿疫實行

神奈川縣にては香港地方より入港の船舶に對し撿

疫する爲め撿疫委員を撰定し市内に豫防法を發布する手續を議決せしが消毒所は例により長浦に設くる筈なりと

●黑死病豫防法の實施

淸國及香港地方に於て流行する黑死病豫防の爲め船舶撿疫法施行の件は内務大臣より成規の如く中央衛生會に諮詢したるに長與會長は各委員の意見を聞き撿疫法實施方然るべしとの儀を同大臣に上申せり右に付撿疫に關する手續等は官報號外を以て發表せらるゝと同時に各開港場（函館を除く）所在の消毒所（函館を除く）を開始する由

●黑死病調査

橫濱の英醫ドクトル、エルトリッチ氏には目下香港に流行する黑死病に付其病源及豫防等を過日來より種々研究中なれば不日發表する由なるが該病は兎角恐る可き傳染病にして虎列剌よりも一層激しく身體の處々より非常の出血を來たし死後は身體黑焼の如く變ずるを以て黑死病（原名フラック、デス）と稱へ今より三百年前英國露國淸國等に猖獗を極め同病に係りたる者殆んど救ふに術なく十中の八九迄は一日乃至一週間位にて病死する程の劇烈病にして是迄世人が恐怖せし虎列剌病は患者百人中死亡六十人とすれば黑死病は比較上死亡八十人に及ぶ者なりとぞ

●黑死病猖獗の電報

在香港本邦總領事舘より二十日付の電報によれば黑死病は益々猖獗を極め其前日即ち去月十九日廿四時間内に新患者三十一名死亡三十四人ありし由にて神奈川縣警察部に於ては香港より來る船舶に對し一層嚴重に警戒し居る赴なれども我邦傳染

病中には未だ曾てなき惡疫なれば其豫防法も定まらず患者取扱方も一定せざるに付き目下夫々講究中なれど先づ不取敢該患者を發見するときは船舶を港外にとゞめ患者は避病院へ送る筈なりと云ふ

◉汽車中の睡眠劑

深川相川町十五番地千石某方の雇人片岡某と云ふは主人用にて靜岡縣沼津驛まで行き去る十六日同處より汽車に乘りて歸京の途中午後四時頃程ケ谷より同車したる男あり年の頃は二十七八色の淺黑き面長なる商人体の者なりしが片岡の傍へ腰をかけて四方山の話しを爲し軈て袋の中より餡パンを取出して自分も食し片岡にも呉たるより同人は何氣なく其厚意を謝しつゝ食したる處間もなく頻りに睡眠を催はし品川停車場へ着する迄は殆んど夢の中なりしがフト眼を覺せば其男は影だに見へず殊に氣分も常ならねば如何にも合點行かずと懷ろへ手を入れて見ればいつしか十數圓入れある紙入を拔き取られて居たるより初めて其パンは睡眠劑なりし事を知り其旨直ちに所轄署へ訴へ出たるが同時是と同樣の手段に罹りたる者此外にまだ一名ありし由油斷のならぬことゞもなり

◉本年の脚氣

例年よりは一二月早く殊に本年は劇烈に來るの姿あり素人は最初脚氣に氣付かず無療治其他姑息の治療をなして日を送る内忽ち惡症の脚氣症に陷る人甚だ多し加ふるに去月十五日以來劇症に變する者ありて殊に婦人に多しと云ふ

◉大日本婦人衛生會常會

五月五日午後一時より麴町區富士見町五丁目富士

見倶樂部に於て常會を開く醫學士田代義德君には疾病の原因及外科の治療に就て演說せられ次に醫學士岡田和一郞君には外科は美貌術なりと云へる演題にて演說せられ午後四時散會せしが此日は五月節句に際せるを以て來會員二十餘名なりき

◉婦人衛生會講師招待

去月廿六日本會々長は役員諸氏と共に午後三時より芝紅葉館に於て朝野の醫學大家等を招待し夕餐を呈し且本會に於ける毎月の講演等に就き懇話を請はれたるか皆快よく御承諾にて各々月分けに講演を擔當せらるゝに至り寔に本會の大幸にして感謝の至に堪へざるなり當日は總裁　小松若宮御息所殿下にも御臨場わらせられ來會の大家等數拾名に達し中々の盛會なりき

◉講師及月割

本月より明年七月まで本會の講演を擔當せらるへき講師及月割を擧ぐれば左の如し

六月	製藥士 田原良純君	理學博士 長井長義君
七月	ドクトル 飯盛挺造君	高山紀齋君
九月	醫學士 田代義德君	醫學士 三島通良君
十月	醫學士 山根正次君	醫學士 宮下俊吉君
十一月	醫學博士 濱田玄達君	醫學士 岡田和一郞君
十二月	ドクトル 入澤立吉君	宮本仲君
來一月	ドクトル 伊澤信平君	ドクトル 加藤照麿君
同二月	醫學博士 中濱東一郞君	鈴木宗玄君
同三月	ドクトル 淺山義六君	山谷德治郞君

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同四月　醫學士　增田知正君
　　　　醫學博士　佐々木政吉君
同五月　醫學士　伊藤祐彥君
　　　　　　　　寺田勇吉君
同六月　醫學士　三浦謹之助君
　　　　醫學士　甲野棐君
來七月　醫學博士　緒方正規君
　　　　ドクトル　金杉英五郎君

右の外臨時差障りの節補員として承諾せられたる講師は藥學士丹波敬三君等なり

廣告

◉五月より六月に至る入會者左の如し

○幹事濱田すて子の紹介により
麴町上六番町四十二番地　通常會員　山野とら子
牛込區細工町十一番地　通常會員　澤村まさ子

○幹事馬渡たま子の紹介により
麴町平河町四丁目十四番地　通常會員　野田せい子

○會員清水うめ子の紹介により
駿河臺袋町十三番地產科婦人科病院內　稻垣光子

○評議員中野悅子の紹介により
麴町永田町一丁目廿三番地　通常會員　松村ひさ子

○地方贊成員村瀨清直君の紹介により
美濃國大野郡黑野村　贊成員　大野仁之助君
美濃國本巢郡美江寺驛　贊成員　和田泰吉君

○幹事加藤つね子の紹介により
麴町上番町廿五番地　公爵夫人　鷹司順子
牛込榎町二番地　宮本夫人

○副會長濱尾作子の紹介により
本鄉五丁目三十番地　通常會員　伊東つる子

○特別會員飯田田靜子の紹介により
芝公園第八號三番地　通常會員　木村ふみ子
○通常會員田中こう子の紹介により
神田三崎町二丁目二番地　秋間たい子
仝　岩井淺子

轉居

牛込區天神町拾番地へ　末岡さた子
赤坂高木町八番地へ　牧野しん子
本郷湯島四丁目三番地へ　名川德太郎君
神田猿樂町鈴木まさ子方へ　安田うめ子
麻布永坂町四十五番地へ　松本梅子
芝西久保明舟町十六番地へ　小森すが子
本郷弓町一丁目一番地へ　朝夷けい子
横須賀稻岡町九號官舍へ　丹治春子
千葉縣千葉町寒川九百六十四番地へ　河村孝子

正誤

本會五十四號雜誌轉居の部へ增田病院と記載せしは產科婦人科病院の誤に付此に正誤す

◉婦人衛生會會員住所姓名（前號の續）

◎地方會員

愛知縣名古屋東外堀四十番戸　井原かぞ子
鳥取縣本町三丁目　井尻きく子
廣嶋縣呉港和庄村　石黑よし子
山梨縣甲府錦町二十三番戸　生駒種子
神奈川縣高坐郡鵠沼村　伊東ゑい子
秋田縣仙北部刈和金村百十八番地　伊藤てつ子
新潟縣大川前通十番地　長谷川はま子
京都上京區新烏丸通丸太町上ル新烏丸頭町　服部繁子
北海道小樽市入船町八十一番地　早川しま子
北海道廳札幌幼稚園　西川かめ子
神奈川縣三浦郡浦賀町川間七番地　細川靜子
相州横須賀字白濱稻岡二十七番地　星野茂尾子
三重縣北牟婁郡尾鷲南浦八十番地　土井登子
愛媛縣松山病院　俊野いわ子
神奈川縣三浦郡浦賀町荒卷三百五十三番地　德田百六子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

熊本縣天草郡牛深二千二百四十六番地　千場員子
大阪西區本田一番町二十六番地　岡田みす子
北海道根室松本町　小野延子
神戸中山手通四丁目九番屋敷　小野竹子
新潟縣北蒲原郡仲條町百三十四番地　小野芳美子
廣嶋縣裁判所　奥山とめ子
千葉縣長狹郡天津千九百六十番地　岡本みな子
長野縣下伊那郡飯田町　小澤愼子
筑前嘉麻郡鯰田炭坑　大木珠子
秋田縣秋田郡大巻銀山　岡本登代子
大阪東區本町一丁目四十番敷　大澤ゆき子
神戸中山手四丁目九番邸ノ三　吉田嶋尾子
廣嶋海軍兵學校官舎　吉見さた子
新潟縣古町通六番町八番戸　横内美都子
神奈川縣横須賀汐留五十四號　武富すみ子
相州横須賀稻岡町九號官舎　丹治はる子
山口縣長門國赤間關市西端町　多田滿瀨子
大津桝屋町四十番屋敷　椿たか子

千葉縣山邊郡池田村　土屋はな子
廣嶋縣西寺町四十五番邸　坪野すへ子
群馬縣綠野郡新町三越紡績町　鶴見琴子
千葉縣長狹郡東條鴨東病院　永井くに子
香川縣高松西新通町　長町萩江子
横濱元濱一丁目一番地　渡邊玉子
京都新柳馬場仁王門下ル菊鉾町二十二番地　男爵夫人　渡邊千施子
千葉縣長狹郡天津千二百三番地　渡邊せい子
群馬縣佐位郡嶋村新地　和田くに子
相州鎌倉長谷　河津敏子
埼玉縣浦和仲町二百三番地　川嶋やす子
廣嶋市鐵砲町梅木小路　川村元子
兵庫縣神戸坂本村六百四十九番地　河内とめ子
千葉縣千葉町寒川九百六十四番地　河村孝子
神奈川縣浦賀川間七百十六番地　嘉納せん子
青森縣青森町寺町卅九番ノ十一號　片山花子
山梨縣東八代郡石和仲町　鹿兒島きく子
神奈川縣横須賀中里九十四番地　賀茂東美子
熊本縣天草郡山口村　吉田ふさ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

長崎縣南松浦郡福江村五百三十四番戸 吉富しも子
横濱市伊勢町二丁目十八番地 中野すが子
栃木縣河内郡宇都宮馬塲町十番地 中山きく子
秋田縣北秋田郡大巻銀山 長岐清子
福岡縣福岡鑛山 中村夫人
廣嶋縣八丁堀七十二番屋敷 植松千代子
大坂府東區嶋町 植村たへ子
高知縣幡多郡古津賀村 野並み種子
愛知縣名古屋竪川ッ藏町八十番戸 熊谷ゆき子
千葉縣長狹郡鴨川町前原十三番地 安田こう子
大坂三軒屋前紡績會社 山邊さた子
大坂南區鰻谷中ノ町三十七番屋敷 安田楠惠子
秋田縣秋田市中亀ノ町七番地 松下てい子
栃木縣河内郡瑞穂野村大字上桑嶋 鱒淵ふさ子
筑前鞍手郡新入炭坑 松田壽衛子
熊本縣天草郡山口村 古荘とめ子
新潟縣上大川前通十番町 藤田りた子
仙臺東三番町百十六番地 近藤幸子
茨城縣水戸市上市北三ノ丸三番地 近藤貞子

福嶋縣福嶋町南裏二丁目八番地 荒川楳子
横濱北仲町 朝山豊子
岩城國信夫郡福嶋町三丁目七十四番地 阿部こと子
青森縣青森町大工町 有田あを子
羽後國飽海郡酒田今町十三番地 櫻井しん子
北海道札幌北三條西四丁目甲八號 酒匂治子
筑前鞍手郡勝野炭坑 佐藤すみ子
鳥取縣會見郡米子町大字立町二丁目二十三番地 衣笠行子
群馬縣吾妻郡太田村大字植原 木下角子
青森縣青森市浦町百四十番地 三浦さた子
石川縣 三間みわ子
神奈川縣三浦郡西浦賀町川間七百三十九番地 荘司操子
神奈川縣横須賀中里二百十番地 清水ふき子
秋田縣秋田郡東館町 平川りえ子
滋賀縣大津市 平井久萬子
茨木縣水戸上市並松町一番地 秀島千代子
新潟縣新發田本村片田町九百二十四番地 守住能婦子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

對馬國嚴原中村町三十八番地　森　園子
三重縣伊勢國一志郡豐地村字下之庄　杉原せい子

◉千葉支會會員

幹事　高梨みつ子
仝　太田てい子
千葉縣千葉町　石橋てつ子
仝　稻垣ふさ子
京都上京東裏辻町　一坂さと子
千葉縣山邊郡東金町　石井とめ子
千葉縣市原郡今富村　千葉みつ子
千葉縣千葉町　太田てい子
千葉縣千葉町　渡邊ふて子
千葉登戸　渡邊たつ子
千葉町　影山もと子
千葉郡柏井村　川口ゑん子
千葉町　高梨みつ子
千葉縣武射郡豐岡村山室　土屋さく子
千葉町　長尾ゑん子
千葉郡都村長峯　中嶋ゑちゑ子

麻布市兵衛町二丁目五番地　黑田てつ子
千葉町　山田なみ子
千葉縣千取郡久賀村三倉富澤氏方　山田きよ子
千葉町　小嶋はる子
佐賀縣伊賀市中野小路　小林くみ子
千葉町　淺井けい子
千葉町　三好のぶ子
千葉町　三輪よし子
千葉町　三村さく子
千葉町　飛田てる子
千葉町、　瀬川しつ子

◉支會贊成員

原　庫二君
荻生錄造君
太田茂君
加藤國松君
佐藤虎之助君
飛田良吉君
森　理記君

大日本私立婦人衛生會

私立大日本婦人衛生會規則

第一條　凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する者は身分の尊卑を問はず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し

但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

第五條　本會々員を分て終身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす

但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

第六條　男子にして本會の主義を贊成する者は之を贊成員とす尤も會費は本會員に同し

但本會に功勞ある者は役員の協議を以て終身贊成會員(無會費)とすると有る可し

第七條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉す推戴員は皇族の御息所等に之を申請するものとす

第八條　本會は左の役員を置く

會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事評議員は會員の投票を以て之を撰擧し書記は幹事の推撰により會長之を命ず

但書記は都合により會員外の婦人又は男子に托することあるべし

第十條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し又は其代理をなし幹事は會長の命を受けて會務を處理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命に從て諸記錄及雜務を掌る

但幹事の分課を設けて　第一　會計　第二　編輯出版　第三　庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に指名委員を置くとあるべし

第十二條　會長副會長及幹事評議員の任期は一年とす尤も再撰するも妨げなし

第十三條　會長副會長及幹事評議員は無給料とし書記は相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會は七月八月を除くの外每月一同として通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　每會學識經驗ある者を聘し講義演說を囑し本會々員の演說と共に之を筆記して本會雜誌に揭載し每月各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす

但し演說の間に談話を交ゆる事あるべし

第十六條　會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむることを得

第十七條　講義演說の際男子の傍聽を禁ず

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

但會員に緣故ある男子は此限にあらず

第十八條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす

但些少の金額は日々の費用支出の爲め事務所に引出置を得

第十九條　會計の收支は總て會計課幹事の撿印を要す

第二十條　會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

第廿一條　會費は郵便小爲替にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し

但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割增とす

第廿二條　入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふ可し

第廿三條　每年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し且規則改正の案あれば之を議定するものとす尤も議定は總て多數決とし可否半數なるときは會長之を決す

但至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すヿを得

第廿四條　每年三月の總會に於て役員の撰擧をなすものとす

第廿五條　規則の範圍内に於て役員の評議を以て其細則を設くることを得

第廿六條　各地方にて發起者十人以上ある者は支會を設くることを得

但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起草し本會役員の認可を經へし

第廿七條　本會の集會場は時々報知する者とす

第廿八條　會費金は受領證を付與すべし尤も小爲替又は郵便劵にて納むる者は右受領證遞送費として郵劵二錢を添ふべし然らざれば受領證は送付せざるものとす

第廿九條　入會後轉居する者は速ゐ事務所に通知ある可し尤も死去の節は親戚知友等より通知ある可し

第三十條　退會せんとする者は會員證を添へて其旨事務所へ報知あるべし

明治二十五年九月

東京下谷區練塀町四十三番地

私立　大日本婦人衞生會

明治廿七年五月廿九日印刷

明治廿七年六月一日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衞生會

編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中德三郎

印刷者　同　神田區小柳町十三番地　小高良造

印刷所　同　神田旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可第一金曜日發行

（定價金拾錢）